

令和6年10月31日

報道機関 各位

「ぬいぐるみ病院」開催について

富山大学教育学部附属幼稚園では、大学附属の特性を生かした保育活動を行っております。このたび、下記のとおり、富山大学医学部、薬学部と連携し「ぬいぐるみ病院」を行いますので、ご案内いたします。

つきましては本件につきまして、取材・報道方よろしくお願い申し上げます。

記

- 日時 令和6年11月12日（火）9時55分～11時10分 診察ロールプレイ
- 場所 富山大学教育学部附属幼稚園 遊戯室
（富山県富山市五艘 1300）
- 目的
 - ・保健指導や本物の医療器具を使った診察ロールプレイを通して、園児が「医療に対する恐怖心を軽減し、親しみをもつ」「自分の身体や健康について関心をもつ」とともに、患者（ぬいぐるみ）へのいたわりや慈しみの心を養うことができる。（園児）
 - ・医学部、薬学部の学生の研修の場として、学生が子供たちへの関わり方や、子供たちの病気・健康に関する見方・感じ方・考え方を学ぶことができる。（学生）
- 内容 ぬいぐるみの診察ロールプレイ
- 参加者 診察ロールプレイ：年長児34名＋保護者
富山大学「国際医療研究会」、「小児科訪問サークル青い鳥」

ぬいぐるみ病院はぬいぐるみを患者に見立てて子供たちに診察・治療をしてもらう取り組みです。

医療系学生が手作りした仕掛けつきのぬいぐるみに対し、様々な器具を使いながら医師の仕事を体験できます。子供たちが主体となり診察を行うことで、日頃受け身になりがちな診察を、より身近に感じられるようになっています。このような体験により子供たちの医療に対する不安を和らげ、医療に興味を持つきっかけになるよう活動しています。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学教育学部附属幼稚園 担当：藤井（副園長）
TEL：076-445-2812 Email：akihiko3@edu.u-toyama.ac.jp